

第1回 岩倉市子ども・子育て会議

日時：平成26年5月30日（金）14:00～

場所：岩倉市役所 第1委員会室

出席者：委員10名、事務局7名

欠席者：委員2名

1. 開会

事務局	<p>○お忙しいところ、また保護者の皆様には仕事を休んで参加していただいている方もおり、ありがとうございます。</p> <p>○来年4月の子ども・子育て関連三法の施行にあわせて、全国で子ども・子育て会議が開かれ、施策・事業の検討が行われていると思います。</p> <p>○岩倉市では市内幼稚園のご協力により、来年4月からの就学前児童の保育環境は改善される見込みです。しかし、学童保育については環境整備が課題となっています。</p> <p>○皆様のご意見を聞かせていただいて、計画の中に盛り込んでいきたいと思うので、忌憚のない意見をいただきたいと思います。</p>
-----	---

2. 委嘱状の交付

事務局	<p>○委嘱状は、机上に配布させていただいています。任期は2年間となっています。よろしくをお願いします。</p>
-----	--

3. 委員自己紹介

委員が名簿の順に自己紹介

4. 会長の選任・会長職務代理の指名

事務局	<p>○去年からの継続の内容でもあるので、去年、委員長だった中田先生と、委員長職務代理であった宮川さんに引き続きお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
	拍手により承認
会長	<p>○今、全国的に子ども子育て問題が議論をされています。また、地方自治体を主体にして、地方自治体で決めろということは多くなってきています。</p> <p>○皆さんからいろいろご意見を出していただいて、多くの方が利用しやすい、就学前の環境ができたらと思います。よろしくをお願いします。</p>
会長職務代理	<p>○策定委員会の時から認定こども園について話してきたので、うまくいっているかどうか、保育園の話、利用者のお話などをこの会議でも話題にできたらよいと思います。</p> <p>○現場のお母さんが参加してくれているので、岩倉市の現状にあった支援が行われているかということも話し合えればよいと思います。</p>

5. 子ども・子育て支援制度の概要の説明

事務局より、参考資料：子ども・子育て支援制度 なるほどBOOK（内閣府資料）に基づいて説明

6. 策定スケジュールの説明

事務局より、資料3 策定スケジュールに基づいて説明

7. 議題

(1) 教育・保育のニーズ量の結果概要について

委 員	○ニーズ量見込みの平成 27 年度の数字は、アンケート調査の結果をそのまま持ってきたものでしょうか。
事 務 局	○単純にアンケート調査結果の数字を入れていきます。そのため、専業主婦でも保育園に「預けたい」と回答していると数字に入ってきます。また、0 歳児保護者の場合、幼稚園や保育園などサービスに対する理解不足も影響しているため、数字の内容は精査していく必要があります。 ○平成 26 年の 3 号認定の数字「197 人」は、保育園 0-2 歳児「147 人」、認定こども園 0-2 歳児「50 人」の間違いです。 ○2 号認定について、岩倉市の公立保育園の定員は、年齢の区分がなく全体で 790 人です。今年度は 3 歳以上で 392 人しか子どもが入園していないので、容量としては入園することが可能な状況です。
委 員	○保育園に入園する場合、申請時は就職しておらず、4 月から就職する場合でも入園の認可が受けられるのでしょうか、4 月よりも前に働いている必要があるのでしょうか。
事 務 局	○岩倉市では求職中でも 2 か月までは入園することが可能です。国においても、今回の支援制度の中で、求職中の入園について明記していく方向となっています。
委 員	○4 月から子どもを入園させる場合は、4 月・5 月は求職中でも預かってもらえる聞いたのですが年度途中でも可能なのでしょうか。
事 務 局	○年度途中でも空きがあれば可能です。ただし、例えば、夫婦フルタイム共働きの方と母親が求職中の場合では、共働きの方が優先度が高くなってしまいます。
委 員	○そこにゆとりがあると、働きたい保護者にとってはありがたいです。12 月に申込書を出して、仕事の面接をする形になると、子連れで面接に行くのは難しいです。
事 務 局	○11 月に入園申請をいただいて、面接をして、就労状況を確認して、希望を聞きながら、保育園への入園順位をつけて進めています。 ○3 歳未満児の子どもは職員の配置基準が違うため、定員が少なく厳しい部分がありますが、3 歳以上に関しては余裕があります。

(2) 骨子案について

委 員	○他市の方の話を見ると、岩倉市の保育園、学童保育の質は他の市町よりも高いと思います。しかし、他市の人たちは岩倉市の質の高さを知りません。例えば、岩倉市は医療費が中学校 3 年生まで無料ですが一宮市はありません。もっと PR していくと良いと思います。 ○土地が高いです。小学校入学時等に家を建てようと思う人が、岩倉市には土地が高くて建てられないと聞きます。その辺の支援があると転入しやすくなると思います。
事 務 局	○岩倉市の保育行政については、これまでいろいろな要求をいただき、それに応えていく中で培ってきたものが大きくあると思いますが、アピールできていないの

	<p>は事実だと思います。</p> <p>○人口減少の中で、都市間競争に勝っていく気持ちがないとまちが維持できないと思います。人口増加策の一つとして、子育て施策の充実をアピールしながら、子育て世代が暮らしたくなるまちにしていかなければいけないと思います。</p> <p>○土地が高いというのはその通りです。市民アンケートなどでも、交通の利便性が高く、名古屋まで近い、暮らしやすいまちと評価されています。それがまちの規模の維持につながっていると思いますが、地価に関しても難しいところがあります。ただ、児童家庭課での誘導策はできないのが現状です。</p> <p>○投資に値する魅力あるまちにしていけることも考えられます。</p>
委 員	<p>○おばあちゃんが、孫を同じような年齢の子どもと遊ばせたくて子育て支援センターに連れて行ったが、「子育て支援センターは子育てを支援するところでそういう子は対象にならない」と言われ、小牧市の子育て支援センターに連れて行ったというお話を聞きました。</p> <p>○子育て支援センターには、「子どもを育てる」という意味と「子育て中のお母さんを育てる」という意味の両方があると思います。おばあちゃんが連れてきた場合でも同じだと思います。</p> <p>○計画のスケジュールをみると、来年の3月には計画を完成させるようだが、私は自分たちの団体のことはわかりますが、他の団体のことや仕組みのことなどわかりません。自分たちの見識だけで意見を言うことに限界はあります。</p>
事 務 局	<p>○子育て支援センターは、保育士が子どもの世話をする場所ではありません。親子が他の親子と触れ合って、コミュニケーションを図る場所です。今のお話を聞いていると、子育て支援センターに行かれた時に、同年代の子どもがいなかったのではないかと思います。また上の年齢は制限していますが、下の年齢は制限していません。</p> <p>○会議の委員の役割については、皆さん代表として出てきていただいているので、その団体のことを教えていただきたいと思います。すべての団体に来てもらうことは難しいので、その部分はアンケートなどで補完しています。すべてのことを把握してお話してくださいということは難しいので、今の現状をお話ししていただくことが大事だと思っています。</p>
事 務 局	<p>○ニーズ量を先に決めないといけない状況なので、数字の話ばかりで申し訳ないと思いますが、施策の検討段階ではいろいろと意見をいただきたいと思っています。</p>
会長職務代理	<p>○新しい子ども・子育て支援事業は、少子化社会対策として進められていると思いますが、都心の状況と岩倉の状況が違うと思います。認定こども園のことや数字のことは決めていかないといけないと思いますが、働いていないから子どもを産めないということがないようにしないといけないと思います。今後、専業主婦の支援も話し合っていくのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>○数値化の話があるので、ニーズ量と提供体制の確保の話ばかりしているが、計画の文章として検討していく段階では議論をしていく必要があると思います。そういったところでは、より皆さんの意見をいただきたいと思っています。</p>
事 務 局	<p>○子育て支援センター機能については、認定こども園にも、そのような場所を作ら</p>

	ないといけないということになっています。各法人、部屋も作られて、それぞれ頑張っていただけと思っています。
会 長	○ひとり親家庭について、そもそも回答数が少ないですが、日本のひとり親家庭は年収も低く 200 万円以下と言われている中で、0 歳児、1・2 歳児の利用率が低いと思います。 ○名古屋市では保育園の生活保護率が下がっています。全国的に生活保護率は上がっているのに、なぜ保育園利用者の生活保護率が下がっているのか理解しにくいと思います。
事 務 局	○詳しい分析まではできていませんが、ニーズ量を出す時にはひとり親世帯については基本的に 100%保育が必要と見ていくこととなりますので、フォローはできると思います。 ○一方で、就労支援の話については難しいところがありますが、働きやすい環境づくりについて、計画に書き込むときにはご意見をいただければと思います。
事 務 局	○生活保護受給者はお年寄りが多いですが、生活保護率が全国的に上がっているのは、その下の世代の稼働年齢、65 歳前の 30～50 歳代の方が正職につけなかったり、リーマンショックの影響で一気に生活保護に流れたからと言われています。 ○ひとり親の生活保護率が下がったかどうかは分析できないところです。
会 長	○ひとり親の家庭であれば、延長保育を利用して働かなければならないという状況だと思いますが、延長保育の利用状況も低いのが気になります。
事 務 局	○ひとり親家庭については、保育の入園児の優先度を上げています。今後、市が実施基準を検討していく場合にはまたご意見をいただきたいと思います。
委 員	○保育園の利用者が増えていくように予測されています。保育園の職員の方は正規の方とパートの方がいますが、延長保育、休日保育が欲しいというニーズに対応しようと思うと正規保育士だけでは難しくなると思うのですがいかがでしょうか。 ○保育士の方と慣れても、次の年に他の園に移動してしまうことがあります。これは市役所で決めているのでしょうか。
事 務 局	○保育園は、毎日 11 時間半保育をしているので、すべてを正規保育士で賄うことは難しい状況です。 ○岩倉市では基準を設けており、クラス担任や障害者加配の保育士、休日保育は正規の保育士が担っています。この方針は当分変えないでやっていきます。 ○保育士の異動については市役所が決めています。市の職員と同じで、3、4 年たつと人事異動の対象となります。特に最近は、年配の職員が大量に退職したため、多くの方が昇任しました。その時には園が変わるのは通例です。 ○一つの園だけが良いのではなく、岩倉市の保育園 7 園が同じような質を担保できるように異動をさせていただいています。

8. その他

会 長	○今日の資料は家に帰ってゆっくり読んで、次回に備えていただきたい。 ○質問があれば次回にいただきたい。
-----	--